



【両手で放り上げた山車を片手でキャッチし、きめた瞬間、その後に沸き起こる見物人の歓声と拍手】

毎年 10 月 7 日、8 日、9 日に繰り上げられる長崎の伝統行事「おくんち」
今年は大鼓山、別名「コッコデショ」が奉納される年でもあり、町は特別の興奮に包まれた。
長崎くんちといえば、龍踊り（じゃおどり）であり、ほぼ毎年披露されるから、有名となった。

一方、この「コッコデショ」は 7 年に一度しか見られないパフォーマンスなのである。

太鼓をたたく 4 人の子供が乗る山車、これを担ぐ 36 人の若い衆。

揃いの掛け声のもと、両手で一斉に天空高く放り上げ、片手でピタッと受け止め静止する。

一瞬の静寂の後、見物人の溜息と拍手。

静と動が織りなす見事な所作は初披露から 200 年という時を経て進化し、「鳥肌が立つ……」というまでに完成を極めたのだ。

これを見ながら、7 年前、さらに、その 7 年前……、そして、7 年後の自分の姿に思いを馳せる。